

## 令和4年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 令和4年4月19日（火）

2 調査対象 第6学年児童15名

### 3 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数、理科）

- ①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
  - ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
- 上記①と②を一体的に問う。

(2) 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

### 4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語は、全国平均を上回っていました。  
算数は、全国平均を上回っていました。  
理科は、全国平均を上回っていました。

(2) 児童質問紙調査

#### 成果が見られた項目

- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
- 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
- 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

#### 課題が見られた項目

- 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。
- 新聞を読んでいますか。
- 学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使っていますか。

### 5 学力向上の取組

今回の調査結果では、ほぼ全ての領域において全国平均同等以上の結果でした。この結果を受けまして本校では今後、以下の2点について重点的に取り組んでいきます。

- 思考力・判断力・表現力を育むための言語活動の充実
- 児童が教科による見方・考え方を働かせ学んでいくための学習過程の工夫

## 6 保護者・地域の皆様へ

児童の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

### ○家庭学習について

・本校で配付している家庭学習の手引きを活用するとともに、学年に見合った家庭学習時間を確保する。

### ○読書について

・学校司書と連携し、家庭で読書をする習慣づくりを推進するとともに、文章を読むことへの抵抗感をなくす。

### ○家庭・地域社会との連携

・地域行事に積極的に参加するとともに、高平生涯学習センターとも連携し、学校の様子を家庭や地域に積極的に情報発信する。